

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第64回放送の概要 (2013年5月25日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 武井咲です。献血ありがとうございますが届いています。わかきみーなちゃん 8才より。献血ありがとうございます、命をわけてくれて。ありがとうございます。生きるという贈り物。日本赤十字社。Lobe in action。

(CM) エキストラ珈琲は、神戸で初めてのコーヒー豆焙煎問屋として、今年で創業 90 周年迎えました。これに合わせ、来月、6月3日(月)・4日(火)・5日(水)の3日間、兵庫区西柳原にある本社 1 階のショップで謝恩特別セールを行います。この機会に是非お立ち寄りください。本日はエキストラ珈琲様 (電話 078-671-0135) のご協力を頂きました。

(CM) 手作り和菓子 古賀屋のおはぎは 佐賀古賀家の がばいばあちゃんが 作ったお米を 佐賀っぼの親父と息子が 選りすぐりの小豆、砂糖、塩を使い、佐賀名物の小城羊羹に負けないだけの味に仕上げました。是非この味をご賞味頂きますようお願い申し上げます。本日は、手作り和菓子古賀屋様 (電話 078-201-5185) の御協力を頂きました。

1. オープニング

気象庁によれば近畿地方の今年の梅雨入り予想は6月7日、梅雨明けは7月21日です。昨年は6月8日に梅雨入りし7月16日に梅雨明けしたので今年は1週間ほど長い予想です。

2. ゲストコーナー(1): 兵庫県神戸県民局 連携・ビジョン課 川西千帆さん

川西さんは長田高校出身。クラブ活動は最初軟式テニス部に入ったが、体育の時間が厳しいこともあり帰宅部になった。当時の増田校長が「智・徳・体」の校風のもと、体育を熱心にやることにより知能に繋げるという方針で、体育が厳しかった。水泳ではバタフライも泳いだ。水泳を見学するとプールの周りで腕立て伏せをさせられた。体育のはじめに、男子生徒は500m程のグラウンドを6周、女子は5周のウォーミングアップをし、その後通常の体育が始まる。雨の日は、最初は体育がなくなると喜んでしたが、体育の先生が「今日は頑張るぞ」と言う合図のもと、男子は15周、女子は10周走った。その時から雨の日はもっとハードな体育があることを知った。それからは、体育の服の着替えの他、靴下につ

いては次の授業がすぐに始まるので、靴下の上にビニール袋を履くなど工夫して走った。時間内に走れなかった場合はペナルティとして持ち越され、3年生の時に何周残っているというペナルティをクリアする必要があり、共通1次の試験が終わった後も走っていた。しかし3年間走ったことで根性がついた。

就職先として県庁を選んだ理由は、面接で言ったのは人のために役立ちたいであったが、それとは別に母親の影響で、小さい時からこれからは女性も経済的に自立しないと聞かされ、長く出来る仕事として公務員を選んだ。

最初の配属先は婦人・生活課で、少し前に男女雇用機会均等法が成立し、女性の地位向上と言われる時代に入り、女性対策担当という係になった。上司は母親に近い年齢の女性であった。

3. ミュージック：Lei Halia (Kealii Reichel) VICP- 61882

ケアリーレイチェルはハワイで有名な歌手で、愛する人の思い出を歌ったものです。

4. ゲストコーナ（2）

兵庫県庁における女性管理職の割合は、入庁当時は現在よりもかなり少なかったが、婦人・生活課はほかに比べると比較的多くの女性管理職が集まっていた。仕事は県民に対して意識調査のアンケートをしたり、県民に向けてのイベントを開いたり、学習会などを行った。当時の副課長、係長クラスの人とはアットホームな感じで仕事をすることが出来た。当時の仲間とは今も繋がっている。

次は加古川の東播磨県民局に異動。商工労政課で技能を有する方の表彰や企業に補助金を交付する仕事をした。本庁では県民の方と直接接することは殆どないが、東播磨では窓口に県民の方が来るので現場を知ることが出来、いい経験になった。次に福祉関係に異動し、民生委員に対する研修などを行った。

次は震災後の平成7年4月に本庁会計課に異動。県の歳入、払い出しを管理する部門で、電卓も通常より3ヶタ多い特製であった。会計課では県全体のお金の動きを知ることが出来た。震災直後は会計と震災関連の両方の仕事をしていた。

次は職員互助会では福利厚生の仕事で、給付金などの支給をしていた。13000人を超える職員がいるので毎日多くのいろんな給付申請が来ていた。

次は議会事務局で県会議員（約90人）に対する福利厚生の仕事をした。職場は非常に静かであった。議員の方はみなさんやさしかった。

次は農林経済課で農業金融といって農家がお金を借りる時、銀行から安い金利で借りられるよう利子補給する仕事をした。兵庫県は近畿地方の中では農業県で、知事が農業に力を入れているので他県に比較し制度が手厚くなっている。北海道などの農業は規模が大きいが、兵庫県は小規模農業が多く支援を必要としている。

次は現在の仕事である連携・ビジョン課に異動。公募したビジョン委員で構成する神戸地域ビジョン委員会があり、平成13年に策定した地域ビジョンを平成23年12月に改定し、「楽しいまち・神戸をめざして」をテーマに活動している。ビジョン委員会のメンバーは131人で、自治会や婦人会で活躍している人が多い。10グループに分かれて活動している。例えば地球いたわりグループ、育もう「スマイル」、地域資源再発見グループ、六甲山グループ、農都・神戸グループ、グローバルグループ（グローバル+ローカル）などがある。グループあたり10名余りのメンバーになるが、掛け持ちをしている人もいる。メンバーの年齢層は60歳代が多く、次世代に繋いでいくよう活動しているが、若い人の参加が少ないのが課題である。会合では世代の違いによる意思疎通が1年半経った現在はいろんな工夫をすることによりかなり改善されてきている。



地域資源再発見グループは、公募の「高田屋嘉兵衛を訪ねるバスツアー」を計画したところ、大反響であった。地球いたわりグループも、6月末のツアーを公募している。六甲山グループは、平家の人が歩いた道を訪ねるツアーを7月13日(土)に計画している。ツアーは「県民だよりひょうご」に掲載しているので応募してほしい。

来年4月から始まる次期(7期)ビジョン委員会の委員には特に若い人に応募してほしい。

第6期ビジョン委員会の成果発表は、11月9日(土)11時~15時半に神戸駅のデュオドームで「神戸地域ビジョンフェスティバル」として発表会を行う。「農都・神戸グループ」が地域の物産を販売したり、「グローバルグループ」のステージ発表では、インターナショナルスクールの人の歌があったり、とても楽しいお祭りを計画しています。また、知事もしくは副知事も参加して意見交換する夢会議も開催します。

趣味はコーヒーが好きなので、休日はカフェやレトロな喫茶店めぐりをしています。

5. なかちゃんコーナ：神戸中学に通っていた竹久夢二

- (1) 憂いを含んだ愛らしい大きな瞳の「夢二式美人画」で一世を風靡した大正ロマンを代表する画家、彷徨する詩人、愛の旅人と称された竹久夢二。
- (2) 竹久夢二は、1884年(明治17年)9月16日、岡山県の瀬戸内の港町・牛窓から内陸に入った近くの邑久(おく)町で、造り酒屋の次男坊(本名は茂次郎)として生まれた。
- (3) 邑久高等小学校を卒業した夢二は、明治32年4月、16歳のとき、父の弟で、神戸の福原近く(兵庫区上橋通4丁目86=現在の兵庫区西上橋通2丁目。楠6の交差点のちょっと西南)で米屋を営む叔父の竹久才次郎宅に身を寄せ、秀才校と評判だった兵庫県神戸中学校(後の神戸第一中学校、神戸一中、現在の県立神戸高校。開校直後のその時は、葺合区二宮町1丁目=現在の中央区二宮町1丁目)に入学した。神戸一中と二中に分割される前ですから、兵庫高校にとっても先輩ということになります。麦と大根畑のなか、新生田川の土堤も未完成の荒れ地の状態で、「一中名物」となった柳行李の弁当箱の蓋を立てかけて立ち食いもここからとか。学校は学費も高く、服装も含めて厳しい校則で、当時の学生生活に夢二が馴染めたかどうかは疑問ですね。
- (4) ただ、夢二にとって、神戸は最初ではありません。13歳の高等小学校時代に叔父を訪ねて神戸に遊びに来ています。叔父の家の近くにあった湊川神社(楠公さん)の境内でよく遊び、縁日では賑やかな露店や見世物小屋、ガラス玉がビンに入っている「ラムネ」(商品名は当時「18番」)に大いに興味を持ったようです。
- (5) 夢二は、叔父の家から学校までの通学路の途中にあった日本基督教団神戸教会(生田区下山手通5丁目=現在は町名変更で中央区花隈9)によく通っていました。その女性宣教師のミス・クロフォードさんに、こましゃくれた質問をして何時も困らせていたそうです。でも、ある時に諏訪山の草原で花を摘んでいるクロフォードさん遭って、「誰にあげるつもりの花か?」と聞いたら、黙って1本の花を学生服の金ボタンの穴にさしてくれたそうで、それ以来、先生をいじめるのはやめた、と言っています。そもそも、夢二は、クリスチャンの父菊蔵に連れられて、幼少の頃から牛窓近くの教会のクリスチャンの集い「日曜学校」に通っていたことがあり、外国人の宣教師家族の姉弟との交流の記憶もあったんですね。
- (6) ところが、折角の神戸中学を、入学したその年末には退学してしまいました。夢二の退学届には「家事の為、12月2日」とあり、理由は不明ですが、ちょうどその頃、岡山県の夢二の実家の造り酒屋の家業の傾き、福岡県遠賀郡八幡村へ夜逃げ同然に村から姿を消したことが背景となっているようです。その後夢二は、明治34年に16歳で福岡を家出し上京、苦学して早稲田実業学校へ入り、その4年後に画家としてデビューすることになりました。
- (7) 夢二が少年期を過ごした神戸は、居留地を抱えて国際的な雰囲気、西欧文明の香り漂う街であった。教会に出入りしたり、神戸で体験し学んだことが、夢二の外国志向を刺激したことは間違い

ありません。1934年（昭和9年）50歳で、惜しまれながら波乱の生涯を閉じました。

（8）今、竹久夢二の美術館や記念館は、全国に5カ所あります。東京弥生、栃木県の日光、出身地の岡山、群馬県の伊香保、石川県の金沢です。彼の芸術創作活動に多大の影響を少年時代に与えたであろう神戸に何も無いのが残念ですね。神戸高校さん、何とかして。

6. あこちゃんの地域瓦版

明日10時～16時まで、楠公さんの武者行列があります。今年は荒田からハーバーランド、元町商店街まで総勢800人が練り歩きます。知事が楠木正成になります。また同日布引ハーブ園でカモミール収穫祭があります。

先月ゲストの兵庫県立大学東日本震災支援サークル Bridge が、6月2日明舞団地のハッピーネスマーケットで東北物産の販売を行います。

6月15日（土）は武陽人100年の集いが兵庫高校で開催され、ゆうかり放送委員会もブースを出します。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：yuukarinikanpai@gmail.com